

英語科学習指導案

日 時：平成19年9月11日（火）6校時
場 所：2年教室
学 級：2年A組（男子7名、女子3名）
授業者：大和 公恵

1 単元名 Unit4 Homestay in the United States

2 単元について

(1) 教材について

本教材は米国でのホームステイが題材である。ホームステイの心得を記したガイドブック、ホームステイ中のホストマザーとの会話、悩みや苦情とそれに対する先生からのアドバイスを読み進めながら、コミュニケーションの基本的態度について考えることができる。また、それぞれの場面に適した助動詞を学習することができる。新出事項は have to、will、must といった助動詞である。一度に様々な助動詞が出てくるので、一つ一つの助動詞の意味を理解させ、自分が伝えたい内容にあった助動詞を選択して自由に表現できるようにさせたい。

(2) 生徒の実態について

4月に行ったNRTの結果を領域別に見ると、聞くこと108%、話すこと99%、読むこと104%、書くこと111%であった。「書くこと」に関して、新しく学習したことを用いて単純に文を書き換えたりすることはどの生徒も意欲的に取り組む。数人は、自分の考えを辞書を用いるなどして、間違いを気にせず進んで英語にしようとする。しかし多くは、内容を整理して書くことが苦手で、与えられた課題に対して中心となる一文は書いても、それに関するつながりのある文を自力で考える事は難しい。

学習にまじめな態度で取り組んでいる。少人数なので、発表はたいていの場合全員にさせているが、挙手による発言も活発である。ペアワークやグループワークにも積極的に取り組む。明るい雰囲気の中で学習することができ、間違いがあってもそれを気にせずまた次の英文を言おうとする気持ちがどの生徒にも見られる。

(3) 本時の指導について

本時は Unit 4 のまとめの時間に当たる。これまでに学習した助動詞を用いて、自分の伝えたいことをつながりのある3文で書くことを目標とする。別々に学習した助動詞を一度に扱うので、意味や用法を確認する必要がある。全体でカード並べ替えをすることで、友達と協力しながら助動詞の意味の確認と例文のインプットをさせたい。

目標の「つながりのある3文」ということを意識して、カード並べ替えでできた英文を口頭練習したあと、さらに関連することを自由にたくさん言わせる活動を行う。助動詞を用いた一文で終わってしまわないために、どのように考えればよいかの手助けになればと考える。

下位の生徒には書き出しを与えることで支援し、上位の生徒には、別の内容でもう一つ書くことにチャレンジさせることで達成感を感じさせたい。

3 単元の目標

(1) [コミュニケーションへの関心・意欲・態度]

様々な助動詞を用いて自分のことを表現したり、情報を得たりする活動に積極的に取り組むことができる。

(2) [表現の能力]

様々な助動詞を用い、質問や応答を繰り返して対話をしたり、自己表現したりすることができる。

(3) [理解の能力]

様々な助動詞が用いられた英文を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。

(4) [言語や文化についての知識・理解]

様々な助動詞が用いられた文の意味、用法、構造を正しく理解することができる。ホームステイについて、ホームステイに臨む心構え、マナー等について正しく理解することができる。

- 4 単元の指導計画（全6時間）及び評価規準
- ・ Starting Out ホームステイについて知ろう 1時間
have to , don't have to の導入
 - ・ Starting Out have to , don't have to を使った文の定着 1時間
 - ・ Dialog アメリカの生活様式について知ろう 1時間
will を使った文
 - ・ Reading for Communication ホームステイ中の悩みを読み取ろう 1時間
must , mustn't の導入
 - ・ Reading for Communication must , mustn't を使った文の定着 1時間
 - ・ 助動詞を使って英文を書こう（まとめ） 1時間【本時】

評価規準

時	学習活動	評価規準			
		関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語・文化
1	Starting Out 本文の内容理解と have to, don't have to の用法理 解	ホームステイに 興味を持ってア ドバイスを読も うとする。		ガイドブックに 書かれているア ドバイスの内容 を理解すること ができる。	
2	have to, don't have to の運用		have to , don't have to を用い て自分のことで 英文を書くこと ができる。		have(has) to, don't have to の 意味、用法を正 確に理解するこ とができる。
3	Dialog 本文の内容理解と will の用法理解、 運用	アメリカの生活 様式に興味を持 って読もうとす る。	will を用いて未 来のことを書く ことができる。	ホームステイ先 での対話の内容 を理解すること ができる。	will の意味、用 法を正確に理解 することができる。
4	Reading for Communication 本文の導入と must, must not の用法理解	ホームステイ中 の悩みや苦情に 興味を持って読 むことができ る。	Yuka や Carlo の 伝えたいことが はっきり伝わる ように、正確に 音読することが できる。	ホームステイ中 の悩みや苦情と それに対するア ドバイスを正確 に読み取ること ができる。	
5	Reading for Communication must, must not の 運用		must, must not を用いて、正し く英文を書くこ とができる。		must, must not の意味、用法を 正確に理解する ことができる。
6	Unit 4 のまとめ 学習した助動詞の 確認と運用	既習の助動詞を 用いて、わから ない語があっ ても書き続けよ うとする。	既習の助動詞を 用い、つながり のある3文を書 くことができる。		様々な助動詞を 正確に使い分け ることができる。

5 本時の指導 (6 / 6)

(1) 本時の目標

- ・助動詞を用いてつながりのある3文を書こう。

(2) 本時の展開

過程	学習内容	生徒の活動	指導上の留意点 意欲・評価の方法
導入	1 あいさつ 2 Warm Up Reading Time Bomber 3 課題確認	<ul style="list-style-type: none"> ・元気にあいさつをする。 ・グループ毎に1列に並び、設定された時間内で教科書を読む。タイマーが鳴った時に読んでいた生徒がじゃんけんをし、質問に答える。 	ゲーム的要素と音読観察
展開	have to, will, must などを使ってつながりのある3文を書こう。		
	4 既習事項の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ <input type="text" value="have to"/> <input type="text" value="don't have to"/> <input type="text" value="will"/> <input type="text" value="must"/> <input type="text" value="mustn't"/> <p>の意味を確認する。</p>	フラッシュカードを用い、素早く反応させる。声の大きさ、観察
	5 言語活動 カード並べ替え	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞を使った英文のカードを用いて、全体でカード並べ替えを行う。 	全体で助け合う、助動詞の意味の確認。観察
	6 口頭練習	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動でできあがった英文を一組ずつ「助動詞を用いた文」「関連する一文」の順に発表させる。 ・他にもっと付け足して言えないか尋ね、自由に言わせる。 	3連文を考える練習とする。
終末	7 Writing	<ul style="list-style-type: none"> ・「頑張らなければならない教科」について3分以内で英文を書く。 ・3分たったら、数名(時間があれば全員)に発表させる。 ・さらに3分与え、同じテーマで付け足したり、新たなテーマで英文を書かせる。 	つづりが分からなければ、カタカナでも良い。 学習シートへの記入 2つ目は条件にとらわれず、自由に書いて良いこととする。
	7 自己評価の記入 8 次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シートへの記入 	観察、学習シート

(3) 評価

- ・多少の間違いはあっても、助動詞を用いてつながりのある3文を書くことができる。(表現の能力)

Unit4 まとめ

Date :

have to, will, must などを使ってつながりのある英文をできるだけたくさん書こう。

テーマ：私が頑張らなければならない教科

次の条件に従って書いて下さい。

3文以上で書くこと。

一文目は、『 I have to study 』で書き始めること。

二文目以降はテーマに関連する英文なら何でもOK。

* つづりのミスなど気にしないでどんどん書こう！（カタカナでもいいよ）

* 制限時間は3分。

I have to study

書き終わった人は次へGO！

今度は、もっと自由に書いてみよう。

書き出し自由（ただし、どれでもいいので1文は have to,must,will などを使うこと）
テーマも自由（さっきとは違う内容で書いてみよう。My dream、頑張らなければなら
ないこと、予定なんかもいいね。）

何文でもいいです、たくさん書ける人はどんどん書いて。

【自己評価】

少しぐらいの間違いは気にせず、つながりのある3文を書こうとした。	A - B - C - D
口頭練習や発表を大きな声でしようと頑張った。	A - B - C - D
テーマに沿って3つの英文を書くことができた。	A - B - C - D